

『さんまの塩焼きさんへ』 竹井月渚

私は、もうすぐ高校生になるから、これを機に、いつも仲良くしてくれたさんまの塩焼きさんにお手紙を書いたよ。

さんまの塩焼きさんと初めて出会ったのは私が幼稚園に通っていた頃で、もう十年くらい前のことだね。その時はほんのたまに会うぐらいで、私は母親と一緒にいることが多いから、二人きりで会ったことはなかったね。

しかも、さんまの塩焼きさんの全部はまだ知らなかったよ。私がさんまの塩焼きさんの全てを知ったのは、小学四年生くらいの時だったね。もう目がまん丸になったよ。「なんだこれは。」っていう驚きしか感じなかった。少し悪口になるけど、正直に言うと、骨が邪魔で食べづらくて、その骨が口に刺さって死ぬかと思った。内臓を食べたら、吐き出すくらいまずかった。あの頃の話だけどね。でも、中学三年生になって少し大人になった私は、ち

やんとさんまの塩焼きさんの良さを知ることができたよ。知るまでにすごく苦勞したけどね。実は、ユーチューブでさんまの塩焼きさんをきれいに扱えるようになる方法を学んだり、親に教えてもらったりして、何度も挑戦したんだよ。知らなかったでしょ。おかげでさんまの塩焼きさんのおいしさや、大根おろしくんと仲が良いことも分かったよ。今では、母親に「さんまの塩焼きさんに会いたいな」って訴えているよ。まだ、内臓は苦手だけど、もっと大人になったら、内臓までさんまの塩焼きさんの良さとして受け入れられるようにしていきたいな。

これから、一生付き合っていく仲だと思うから、お互いの短所を長所に変えて、充実した人生と一緒に送っていかうね。高校生になったら、今度自分一人でさんまの塩焼きさんのところに会いに行くからよろしくね。昔も、今も、未来でも、ずっと大好きだよ。